

(地域センター開所式の様子  
2019年3月27日挙行)



高田行紀  
文部科学省  
教員養成企画室長

毛利 猛  
香川大学大学院  
教育学研究科長

山下一夫  
鳴門教育大学長

大路正浩  
独立行政法人  
教職員支援機構  
理事

佐野 栄  
愛媛大学大学院  
教育学研究科長

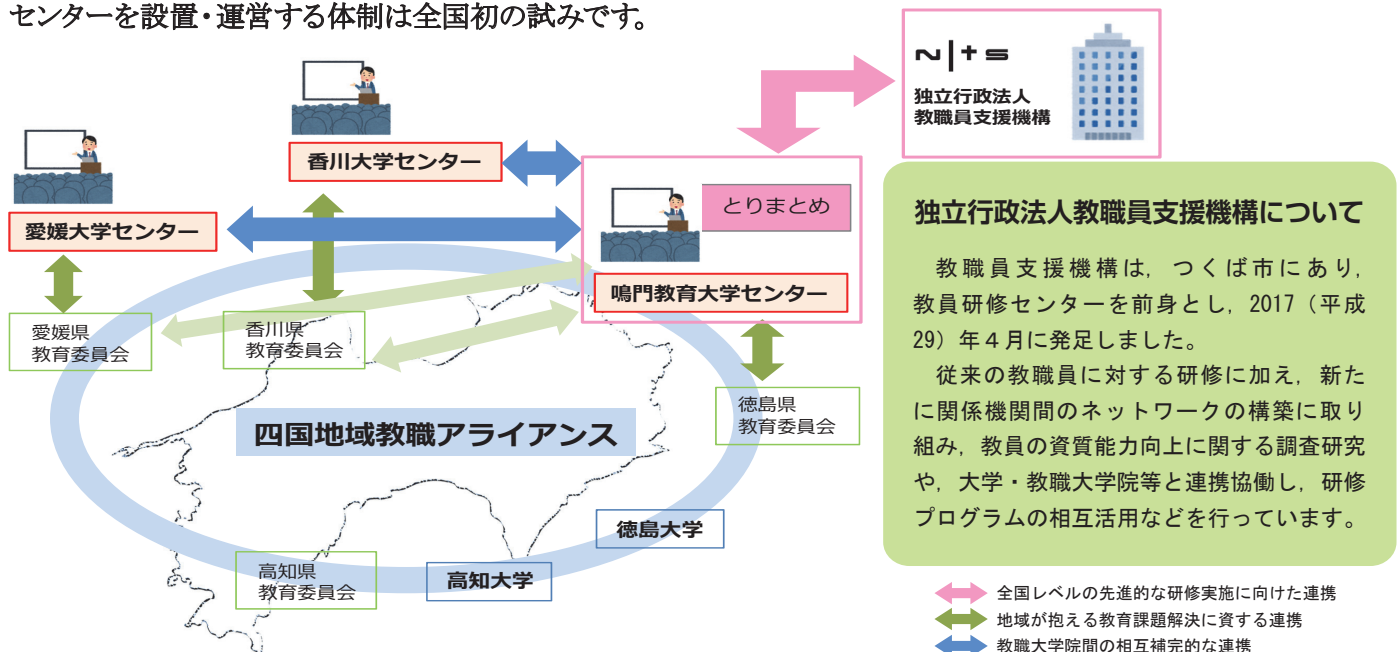
美馬持仁  
徳島県教育委員会  
教育長

## 四国地域教職アライアンスセンター設置

2019（平成31）年4月1日（月）、独立行政法人教職員支援機構と四国地域の国立教員養成大学・学部の教職大学院及び教育委員会間の連携による四国地域の研修の高度化を目指し、「教職員支援機構・四国地域教職アライアンスセンター（以下「地域センター）」を開設し、本学では地域連携センター3階に設置しました。

地域ブロックとして複数大学が連携し、地域センターを設置・運営する体制は全国初の試みです。

教職員支援機構と鳴門教育大学、香川大学及び愛媛大学が緊密な連携のもと、四国地域の教職大学院、教育委員会間の教員研修の体系化における連携を深めるとともに、地域のニーズに沿った教員の資質・能力向上を図り、学び続ける教員に対する支援に寄与するための研修を企画・実施していきます。



独立行政法人  
教職員支援機構

### 独立行政法人教職員支援機構について

教職員支援機構は、つくば市にあり、教員研修センターを前身とし、2017（平成29）年4月に発足しました。

従来の教職員に対する研修に加え、新たに関係機関間のネットワークの構築に取り組み、教員の資質能力向上に関する調査研究や、大学・教職大学院等と連携協働し、研修プログラムの相互活用などを行っています。

- ➡ 全国レベルの先進的な研修実施に向けた連携
- ➡ 地域が抱える教育課題解決に資する連携
- ➡ 教職大学院間の相互補完的な連携



## 4年目を迎えたBPプロジェクト（いじめ防止支援プロジェクト）がシンポジウムを開催

2019（平成31）年2月11日（月・祝）、2015年4月の発足から4年目となるBPプロジェクト（宮城教育大学、上越教育大学、鳴門教育大学及び福岡教育大学の4大学による協働参加型プロジェクト）のシンポジウムが東京都で開催され、全国から教育委員会関係者、教員、学生、一般など約170人が集まりました。

基調講演は、鳴門教育大学大学院の葛西真記子教授が「性の多様性の理解と学校現場でのいじめの現状」と題して講演しました。

はじめに、自らの性別に違和感を持つ児童・生徒の過半数が自殺企図・自殺念慮の経験を持ち、不登校やいじめの被害を体験する割合の高さを紹介しました。このように、非常に高いリスクがあり、対応する必要があるにも関わらず、セクシュアルマイノリティにとって、現在の学校現場は、安全・安心な場ではないと訴えました。

続いて、学校現場では何ができるかについて、「教員の正しい知識の獲得と意識変容」、「年齢の低い段階からの教育」の2つを中心に説明しました。葛西教授は、対応には良心と道徳心だけでは足りなく、知識が必要であることを示し、参加者がこれからどう向き合えば良いか、教員として何ができるかなどを紹介し、参加者から高い評価を得ました。



【来賓挨拶】  
文部科学省  
永山賀久初等中等教育局長



【基調講演】  
鳴門教育大学  
葛西真記子教授



【取組報告】  
（公社）日本PTA全国協議会  
佐藤秀行参与



【取組報告】  
（東京都）町田市立つくし野中学校  
天利公一校長

## 全国トップレベルの教員就職率

文部科学省が2019年1月に公表した国立の教員養成学部・大学（教員養成課程）の2018年3月卒業者の就職状況において、本学は教員就職率は、83.3%で全国第2位となりました。

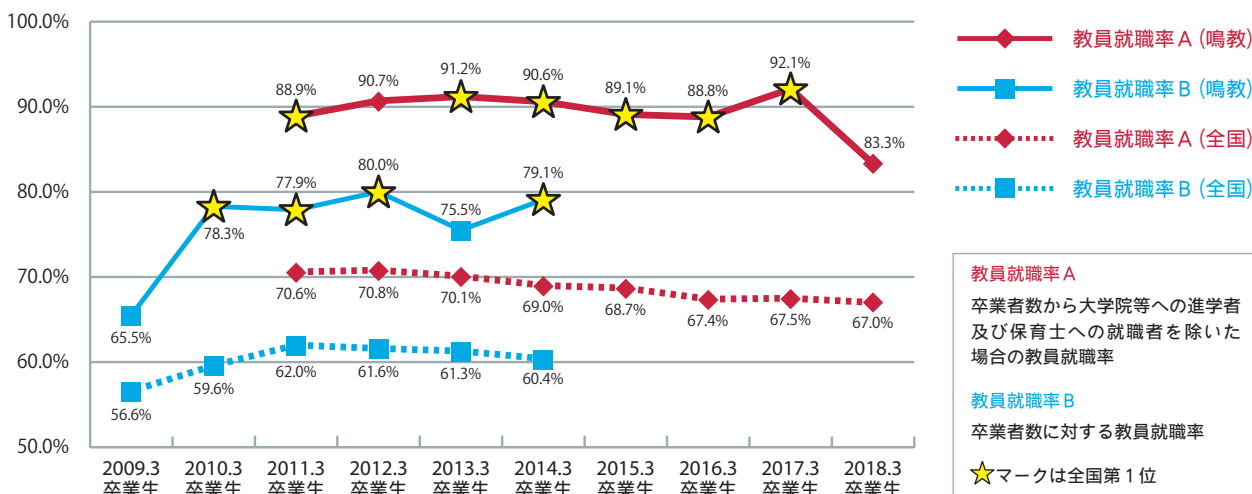
なお、教職以外を含めた就職率は100%です。

昨今、公立小学校教員採用選考試験の受験倍率が低迷していることから、教師という職業にブラックなイメージを持つ学生が少なからずいます。

教員の働き方改革を進めなければなりません。本学では授業や合宿研修において、教員としての使命や責任を話題にするだけでなく、やり甲斐や魅力も積極的に話題にするようになりました。卒業生などの身近な諸先輩から体験談を語ってもらうなど、教員を目指す学生が、教員になるという目標を持ち続けられるような取組により、今後も、高い教員就職率を維持していきます。

また、本学では、教職の夢を追い続ける卒業生・修了生への支援にも取り組んでいきます。

### 学校教育学部卒業者の教員就職率の推移（過去10年間）



## 甲南大学、京都文教大学と連携協力協定を締結

2019年3月7日(木)に甲南大学(神戸市)と、3月12日(火)に京都文教大学(宇治市)と、教育研究等の分野における連携協力に関する協定を締結しました。

両大学とは、かねてから臨床心理士養成分野における教員及び学生間の交流が行われてきました。

この協定を機に、公認心理師養成分野及び教員養成分野においても連携・協力し、教育課程の充実をはかり、教育や医療などの現場で活躍する人間的魅力のある人材(公認心理師、臨床心理士、教員など)を養成していきます。



山下学長と長坂悦敬甲南大学長(右)



山下学長と平岡 聡 京都文教大学長(右)

## 学部生(理科教育コース)がラオスで実験授業

2019年3月、グローバル教員養成プログラム「ラオス教育協力活動」に参加した学部3年次(理科教育コース)の学生2人が、本学の武田清教授、寺島幸生准教授と共にラオスの小・中学校を訪問し、理科の実験授業や児童・生徒との交流活動を実施しました。

この実験授業は英語で行いましたが、ラオス語を母国語とする生徒たちと向かい合うことで、学生は言葉に頼らない授業展開の重要性を感じ、言語の壁を越えた教材や授業方法を考えるきっかけになりました。

ラオスへの教育協力支援は、1998(平成10)年度のJICAプロジェクトによる教員の派遣に始まり、JICA研修員の受入れや現地フォローアップを経て、現在も研究・教育交流が続いています。



現地の中学校で実験授業を行う鳴教大生

## ウェスタンカロライナ大学一行が本学を表敬訪問しました

2019(令和元)年5月28日(火)、大学間交流協定締結校であるアメリカのウェスタンカロライナ大学(WCU)の本橋壮一郎講師と学生あわせて13名が本学を表敬訪問しました。

本学とWCUは、2006年に、日米の6大学からなるコンソーシアムでの交流協定を締結して以来、教育研究分野の交流実績を重ねてきており、毎年WCUからの訪問団を受け入れています。また、2019年8月から本学の学生2人がWCUに留学しました。

WCUの一行は、鳴門教育大学の宿泊施設に5月27日から5月30日にかけて滞在し、本学附属小学校、附属中学校の視察及び本学学生との交流会に参加し、鳴門の渦潮見学や徳島市の阿波踊り会館見学などの文化体験を行いました。附属小学校では給食・掃除を体験し、彼らにとって日本の学校ならではの貴重な体験となりました。





## 附属図書館にメディア・コモンズがオープン!

2019年4月1日(月), ICT活用やアクティブ・ラーニング等の学びをよりいっそう支援するため, 視聴覚室を改装して, メディア・コモンズがオープンしました。

個人・グループを問わず, 申し込みなしで自由に利用できることから, 様々な学修に活用されています。

- ・ CD, DVDなどの視聴覚資料や, 各種 ICT 機器が利用可
- ・ 小学校英語教科化に対応した英語学習コーナーを併設
- ・ ガラス張りの明るく開放的な室内



## 大学役員と附属中学校生徒との懇談会を実施

2019年2月15日(金), 本学役員と附属中学校の生徒との懇談会が行われ, 全国レベルの大会などで顕著な成績を修めた生徒から, これまでの取組や日頃頑張ったことなどが発表され, 役員から祝福と激励が贈られました。

### 懇談会での受賞報告



- 日本生物学オリンピック 2018 敢闘賞
- ジュニアドクター育成塾サイエンスカンファレンス 2018 分野賞 (数物・化学系)
- 第4回全国中学生フェンシング選手権大会 中学男子エペ6位
- 第6回科学の甲子園ジュニア全国大会 出場(徳島県代表)
- 第56回四国中学校総合体育大会硬式テニス競技 男子団体3位
- 第3回徳島県中学校総合文化祭書道半紙部門 徳島県教育委員会教育長賞



フェンシング日本代表として国際大会にも出場した伊勢 碧さん



「自然数  $2^n$  の下 2 桁の数の規則性とその証明」の発表で, 分野賞 (数物・化学系) を受賞した四方美妃さん

